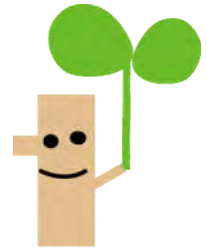


平成24年度

親サポ

3月報告



日時：平成24年3月17日(土)
テーマ：『支援の方向と方法』
講師：敦賀短期大学教授 龍谿乗峰 先生

～みんなで、一緒に考えよう～

今回の親サポには、15名のご家族の方が参加されました。今回のテーマは『支援の方向と方法』、龍谿先生を講師に迎えました。

だんだんと暖くなる今の時期は、季節の変わり目にあたります。

この時期が、ひとつの節目となり、お子さんの中には、何らかの動きが出てくる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。動き出すタイミングは、その人その人にとって独自のもの。家族や支援関係者からの支援が、本人の「タイミング」に合ったものであれば、本人の一步を支えることができます。

本人が今どういう状態にあるのか、どういった支援が必要なのか、などを考えるための一つの方法として、あるワークシートを紹介されました。

このワークシートには、いくつもの人物や動物などのイラストと、そのセリフを記入するための空欄のふきだしが書かれています。そのふきだしに思いつくままにセリフを記入していく、というものです。参加者の方々が各自ワークシートに記入する時間を設け、その後、記入例をもとに、このワークシートからどのようなことが読みとれるのか、説明されました。

それぞれのイラストの人物や動物のセリフには、本人の意識（例えば、現状認識、家族関係、葛藤、自立への意識など）が表れると考えられています。大切なのは、決めつけるのではなく、それぞれの意識のつながりやバランスなど、全体を捉えることだとお話されました。このような方法は、支援の方向性や方法を考えるための、一つの方法になります。

講義の後は、本人の一步を見守り支えるために、具体的にどのように子どもに対応したらよいのかということについて、話し合う時間となりました。『毎日、母が本人の部屋に食事を運ぶという期間が長く続いているが、このまま食事を運ぶことを続けるのがよいのか迷う』という参加者の声に、先生は『一度、父が食事を運んでいき、「食べ終わったら、階段のところまで持ってきておいて」と頼んでみる』という方法を提案されました。これを本人が受け入れれば、しばらくは母が食事を運ぶことを続けながら、○曜日は父が食事を運び本人が食後に階段のところまで食器を持っていく、という期間をしばらく設けるようにし、段階的に移行させていきます。「食事を運ぶ」という本人への支援をいきなりやめるのではなく、徐々に、ゆるやかに、本人への支援を減らしていくことで、本人が一步を進めやすくなるのではないのでしょうか。



参加された皆さんの感想

- * 気づくことがいっぱいありました。
- * 父親にも参加してもらわなければと思いました。
- * ゆっくりと進んで行くのだと感じました。

平成24年度

親サポ

(親のためのセミナー)

～みんなで、一緒に考えよう～



ふくい若者サポートステーション「サポステふくい」は、若年無業者の方への就労支援を行う機関です。ご本人への支援はもちろんのこと、ご本人を支える親御さんの方々への支援も行っております。

今年度も、毎月第3土曜日にセミナーを予定しております。講師による講話の他、グループワークや参加者同士の交流会など、同じ悩みを抱える方々同士の交流や情報交換等をしていただく時間を設けています。

「親子関係はどうあったら良いのか」、「子どもとどう接していけば良いのか」、「解決に向かうにはどうしたら良いのか」など、一緒に考えていきませんか？ ぜひ、ご参加ください。

- 対象：若年無業者のお子さんを持つご家族の方
- 定員：20名
- 場所：福井県社会福祉センター2階（福井市光陽）
- 日時：毎月第3土曜日 13:30～16:00
- 内容：講師によるセミナー50分・グループワーク50分
リラックスタイム（フリー交流会）30分

予約方法：(0776) 21-0311

事前にふくい若者サポートステーションまでお電話下さい。



5月のセミナー 平成24年5月19日 開催
セミナー講師 福井県教育カウンセラー事務局
向井 清和 氏

※ 平成24年度6月のセミナー講師は
心理相談室 アシスト代表 臨床心理士の岡本克己氏です。



【お問い合わせ】

ふくい若者サポートステーション 『サポステふくい』
〒910-0026 福井県福井市光陽2丁目3-22
福井県社会福祉センター 1F
TEL：0776-21-0311